

新潟労組への檄

静岡労働金庫労働組合
青年委員会事務局長 橋下 佳奈

静岡労組青年層としては「雇用に関する要求」について共感を持ちました。

日本の非正規労働者は 2,000 万人を超え、いわゆるワーキングプアは 1,000 万人近くに達しています。若い世代の非正規雇用率が高まる中、結婚して子供を産み育てることも難しい状況があり、日本の社会保障システムを支える“人”が減少していくことにもつながっています。

このような社会情勢の中、昨年労働契約法が改正されました。2013 春闘では、全単組で安定雇用の実現を要求に掲げ、事前協議も含め、法を上回る対応について 3 単組で実現に至りました。労働金庫は、労働者自主福祉運動を標榜する福祉金融機関であり、特に「労働」については、厳格に対応する強い責任が求められています。この社会的責任に応えるためにも、安定雇用の実現に先陣を切って対応しなければなりません。

全ての労金労働者が、働きがい・やりがいをもって安心して働ける職場環境の実現に向けて、ともに頑張りましょう。